



町長日記

みなさん、7月号でも報告させていただきましたが、6月2日の台風2号、梅雨前線による大雨本当に凄かったですね、由良川の越水や急激な浸水、土砂災害等で被害に遭われた皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。当日は役場職員全員が町民のみなさんの命と安全を第一に考え、みなさんのご要請に応えるべく奮闘し、走り回っていました。雨がさらに強くなり、道路が冠水した役場から出られない状態に至っては、職員にこれ以上危険な目にあわすわけにはいかないと判断して役場または現場で留まるように指示をしました。ご要請に応えられなかった方々には本当に遺憾に思っています。書面上ではありますが、改めて謝らせていただきます。

床上、床下浸水にあわれた方々、土砂がお住まいに流れ込んでこられた方々、田畑に流木や土砂が流れ込んでこられた方々、本当にお辛かったです。お気持ちはよくわかります。役場に対しては厳しい声も寄せられますが、皆さんの負担を少しでも軽減するために、畳や家財道具の災害ゴミや流木等を片付け、家屋の消毒、また安全管理のために、被害実態調査、ため池、河川、道路の監視などその後の被災対応においても職員は一生懸命やっていた（いる）こともご理解もいただきたいと思っています。ボランティアで災害廃棄物を運んでくれた業者の方もいました。そして建設業者、消防団、各地区の区長さん等様々な面でご協力いただいた方々に心からお礼申し上げます。「ありがとうございました」

このような、急激な大雨による大災害は初めてのことでしたので（私の経験上）、役場内でも情報が錯綜したこともありましたが、役場内で今回の災害で何が出来て、何が出来なかったのか、今後どうすれば良いのかを職員からアンケートを取って様々な改善の意見を出してもらい、まとめ上げました。役場、消防団、自主防災会がどのように動くべきか、問題を一つ一つ分析して解決していきたいと思えます。

それと、あらためて、自助、共助、公助を考えていかなければと思いました。自助とは、自分で自分の範囲で出来ることを言います。共助は自分で出来ない事を周りの人々で共に助け合う、その後行政が自助、共助で出来ない事を補う、誤解しないでくださいね、何も行政が積極的に関与しないという事ではないのですよ、これから台風シーズンを迎えます。ゲリラ豪雨がくるかもしれません、また、南海・東南海地震による津波は常に心配されます。そこで、住民の皆さんも今一度防災について考えてみませんか？防災用品はお家に準備されていますか？非常用食料やお薬はどうですか？避難場所の確認はできていますか？

備えあれば患いなし、と言います。平素からご準備よろしくお願いします。役場もちろん地域の防災力の向上に取り組んでいきます。



由良町長 山名 実